

課題

「全国学力・学習状況調査」の児童生徒の質問紙において 振り返りを計画的に位置付ける必要性がある

手立て

- POINT① 働かせた見方・考え方を板書し、まとめに使えるようなポイントをノートに残す習慣をつけ、振り返る際の材料とする
- POINT② 学習の過程を振り返る時間を設け、全体で共有する
- POINT③ 振り返るポイントを明確にする

具体例

POINT① 働かせた見方・考え方を板書したり、授業中に大切だと感じたポイントを記録する習慣をつけたりし、振り返りの際の材料とする

振り返る際に、自分自身の学習の足跡を振り返らせるために、

- 本時の学習における自分の見通しを書かせる
- 大切な気づきやアイデアを吹き出しなどを用いて記録に残させる
 - ・自分にはなかった考えやアイデアを大切にさせる。
- 働かせた数学的な見方や考え方を板書に残させる



POINT② 本時の学習を振り返る時間を確保し、全体で共有する場を設ける

- 新たな自分を発見し、授業の構成を見直し、熟考できる時間を確保する
- 振り返りを効果的に活用する
 - ・授業の終末場面で紹介し、全体で共有する。
 - ・ポートフォリオを活用し、資料の一つとする。
- 発表の形態を工夫する
 - ・ICT機器等を活用して、一斉に画面に提示する等。
- 次の時間の学習へつながる振り返りとする
 - ・本時の学習を振り返るだけでなく、新たに生まれた疑問や次への課題も書く。
 - ・次の授業の導入場面で紹介し、既習内容を想起したり、本時の学習のめあてを明確にしたりする。

振り返りの具体例

平行四辺形も、長方形や三角形に形を変えれば求められることがわかった。次の図形も、長方形や三角形に変えれば求められると思う。

POINT③ 振り返りのポイントを明確にする

- どのような問題を解決したのか？【＝問題】
- 問題を解決するために自分がどのように考えを進めたのか？【＝自分の考え、思考過程】
- 問題を解決するための友達の考えにはどのようなものがあるのか？【＝友達の考え】
- 話し合った結果、どの考え方や方法がよりよいものだったか？【＝価値付け】
- 大切な考え方や方法、技能のポイントや覚えておくべき知識は何か？【＝まとめ】